

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>■北海道地区
札幌支店 ☎011(864)0440
旭川営業所 ☎0166(37)2330
北見営業所 ☎0157(36)9009
釧路営業所 ☎0154(24)4191
帯広営業所 ☎0155(35)7518
函館営業所 ☎0138(48)6070</p> | <p>■関東地区
北関東支店 ☎048(651)1722
水戸営業所 ☎029(241)2172
つくば営業所 ☎029(839)5325
宇都宮営業所 ☎028(632)5105
太田営業所 ☎0276(38)6571
高崎営業所 ☎027(361)4806
首都圏支店 ☎03(3927)1151
立川営業所 ☎042(519)5271
千葉営業所 ☎047(312)8330
横浜営業所 ☎0466(90)5567
甲府営業所 ☎055(268)1567</p> | <p>■東海地区
名古屋支店 ☎052(746)6600
岐阜営業所 ☎058(268)7555
静岡営業所 ☎054(238)0005
沼津営業所 ☎055(968)6210
津営業所 ☎059(234)8471</p> | <p>■九州地区
福岡支店 ☎092(474)5771
北九州営業所 ☎093(592)8611
長崎営業所 ☎095(882)7710
熊本営業所 ☎096(367)7361
大分営業所 ☎097(523)5161
宮崎営業所 ☎0985(29)1680
鹿児島営業所 ☎099(281)1321</p> |
| <p>■北東北地区
青森支店 ☎017(742)8255
八戸営業所 ☎0178(24)5289
弘前営業所 ☎0172(28)3910
盛岡営業所 ☎019(622)4791
水沢営業所 ☎0197(22)4155
秋田営業所 ☎018(864)5671</p> | <p>■信越地区
新潟支店 ☎0256(32)2126
新潟東営業所 ☎025(286)9131
長野営業所 ☎026(221)5111
松本営業所 ☎0263(26)0051</p> | <p>■近畿・四国地区
大阪支店 ☎06(6380)2111
彦根営業所 ☎0749(24)6239
京都営業所 ☎075(643)2002
福知山営業所 ☎0773(22)0827
神戸営業所 ☎078(922)2431
高松営業所 ☎087(835)1711
松山営業所 ☎089(968)7351</p> | <p>■沖縄地区
沖縄営業所 ☎098(897)5677</p> |
| <p>■南東北地区
仙台支店 ☎022(235)3181
山形営業所 ☎023(642)3255
庄内営業所 ☎0234(31)0571
郡山営業所 ☎024(938)2240</p> | <p>■北陸地区
金沢支店 ☎076(260)0567
富山営業所 ☎076(444)0567
福井営業所 ☎0776(23)0567</p> | <p>■中国地区
広島支店 ☎082(871)3310
米子営業所 ☎0859(33)8157
岡山営業所 ☎086(243)7751
徳山営業所 ☎0834(22)5567</p> | |

●アフターサービスに関するお問い合わせは

コロナ サービスセンター修理受付専用ダイヤル(全国共通番号 365日24時間受付)

電話
フリーダイヤル ☎0120-919-302

携帯電話・PHSなどからの利用は
ナビダイヤル ☎0570-550-992
ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

サービスセンターにおける個人情報の取り扱いについて

当社及び業務を委託する協力会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容をアフターサービス等の確認や対応のために利用し、その記録を残すことがあります。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供致しません。

コロナホームページ <http://www.corona.co.jp/>

- 当カタログの仕様は製品改良のため、断わりなく変更することがありますのでご了承ください。
- 商品本体の色は印刷のため実物と若干異なりますのでご了承ください。
- このカタログの内容についてのお問い合わせは販売店にご相談ください。もし販売店でおわかりにならないときは、最寄りの株式会社コロナにおたずねください。



石油暖房機器、空調・家電機器及び住宅設備機器を設計・開発・製造及び販売している(株)コロナは、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001:2008」の認証を取得しています。石油暖房機器、空調・家電機器及び住宅設備機器を設計・開発及び製造している(株)コロナは、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001:2004」の認証を取得しています。

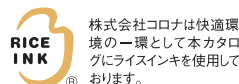
企業・工場等の品質及び環境システムが、ISO(国際標準化機構)が制定した品質及び環境マネジメントシステム規格に適合しているかどうかを第三者機関が審査し、登録する制度です。

●ご利用は、信用とサービスの当店へ。

●お支払いは便利で簡単な



コロナの全商品(関連機器・工事費も含む)が便利な分割払いでお求めになります。



株式会社コロナは快適環境の一環として本カタログにライシンクを使用しております。

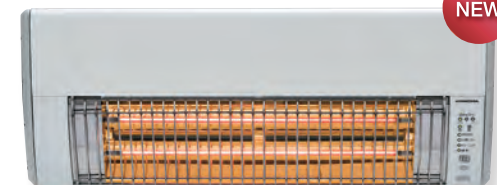


寒いけれど、ここに暖房は…と思っていた場所にぴったり!

壁掛型遠赤外線暖房機

ウォールヒート
HOT & COOL FAN

開発中につき、予告無く商品の仕様等を変更する場合がございます。



壁掛型遠赤外線暖房機

ウォールヒート

HOT & COOL FAN

寒いけれど、ここに 暖房は…とっていた場所にぴったり!

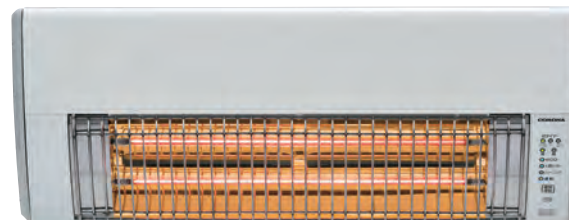


ヒートショック予防に

冬の浴室では、寒いところから暖かい場所へ移動する際の急激な温度変化により、ヒートショックをおこす場合があります。脱衣所を暖め、温度差を少なくすることで、ヒートショックの予防につながります。



NEW



壁掛型 遠赤外線暖房機

DHK-C1216
(W)ホワイト
4906128 157830
1215W

オープン価格*

*オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。

壁掛型遠赤外線暖房機

ウォールヒート

HOT & COOL FAN

6つのポイント

信頼の日本製

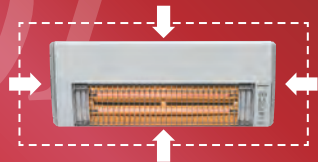
瞬間暖房

簡単操作

安心設計

クリーン

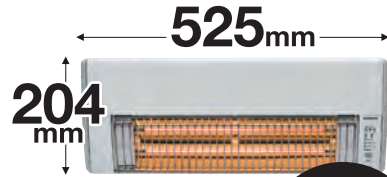
壁掛けコンパクトサイズ



壁掛けコンパクトサイズ

色々なスペースに設置可能

脱衣所や洗面所など狭いスペースにも設置できるコンパクトサイズです。また、壁面設置だから床置き暖房と違い、床のスペースをとりません。寒いけれど暖房を置けなかった場所にも設置が可能です。



新聞紙一面の1/2サイズ

簡単操作

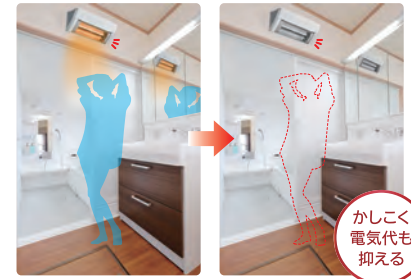
ラクラク操作&省エネ



※1. 人感センサー運転中に、無人状態によって一時的に運転を停止していても、運転開始から3時間経過した場合は、3時間自動切タイマーがはたらき自動的に運転を停止します。

「人感センサー」でラクラク温かい

人感センサーをONにしておけば、人の存在を検知して自動で運転を開始します。また、不在検知をした際は約1分後に自動で運転OFF。*1 都度の運転操作や消し忘れの心配もいらず、電気代を抑えたかっこいい運転が可能です。

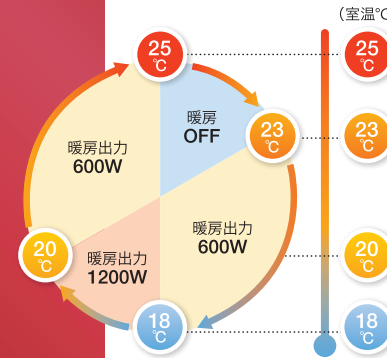


人がいる時
自動でON

人がいない時
自動でOFF

かしくく電気代も抑える

快適温度を考えて自動で省エネ「ecoオート運転」



温度センサーが部屋の温度を検知し、室温に合わせてヒーター出力を自動で切り換えます。

● 暖房運転中のみ有効です。涼風運転に切り換えた場合、ecoオート運転を停止します。

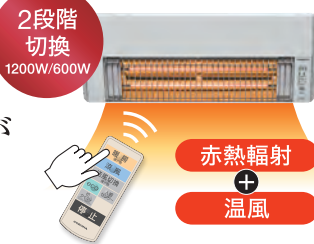
● 室内温度に合わせてヒーター出力を切り換えます。室内温度が25°C以上の場合は暖房運転を停止しますので、暖房運転を行う場合はecoオート運転を解除してください。

● ecoオート運転中でも送風の強弱を切り換えることができます。お好みの送風量に設定しておいてください。

瞬間暖房

スイッチONですぐにあったか！
パワフルな暖かさがあなたを包みます

スイッチを入れるとすぐにあったか。ファンを回して温風をプラスした瞬間暖房で温まります。



生活防水仕様リモコン搭載

暖房は強/弱の2段階切替(1200W/600W)で、使いやすさにこだわったリモコンを搭載しているので、離れた場所からの操作も可能です。

クリーン お手入れカンタン

フィルターを天面ではなくサイドに設置。両側面から吸気し、輻射部から温風が吹き出すT型フロー構造を採用。フィルターの着脱がスムーズにでき、フィルター掃除が簡単です。また、本体も掃除のしやすさに配慮したシンプルなフラットボディを採用しています。



上部にフィルターがあると手間がかかる

ラクラク着脱

フィルター掃除もカンタン!

05

Safety

安心設計

マイコン制御

クリーニングお知らせ機能

フィルターの埃詰まりなど、商品内部の温度上昇を感知した場合、ランプによるお知らせをする安心機能です。



- ※フィルター掃除後、器具内部の温度が下がるとランプは消灯します。
- ※フィルターの掃除は、必ず器具を停止し、電源プラグを抜いた状態、またはブレーカーをオフしてから行ってください。
- ※涼風運転時はクリーニングお知らせ機能を停止します。フィルターが汚れていると感じたら、クリーニングランプの点灯に関わらずフィルターの掃除を行ってください。

内部の温度上昇を感知すると…

●eco
●人感センサー
●クリーニング
●運転

点灯

本体のクリーニングランプを点灯させクリーニング時期をお知らせ。

過熱防止装置

商品内部が異常過熱した場合に、素早く運転を停止し、警告音(ピーピーピー)と運転ランプとクリーニングランプの早い点滅でお知らせします。過熱防止装置が作動してから、1分間は本体内部を冷却するために送風を行います。

消し忘れ防止 3時間タイマー& 切タイマー設定

マイコン制御により、3時間で運転を自動停止します。また、切タイマー設定は0.5・1・2時間から設定することができます。

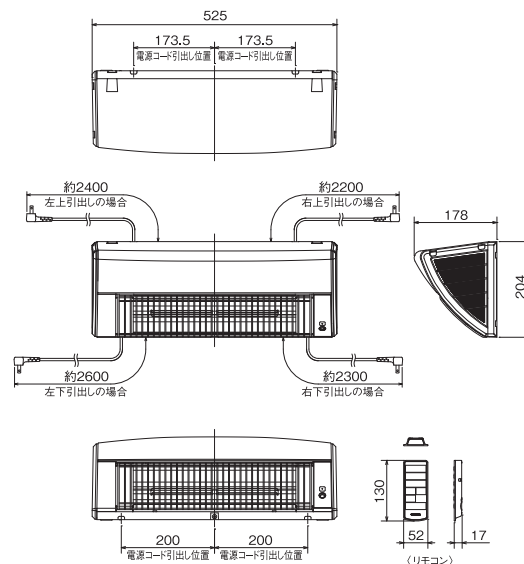
仕様表

商品名		壁掛型遠赤外線暖房機	
型式		DHK-C1216	
電源		単相100V(50/60Hz)	
消費電力	暖房	最大(1200W強風)	1215/1215W
		最小(600W弱風)	605/605W
	涼風	最大	18/22W
		最小	13/15W
待機時消費電力		0.8/0.8W	
騒音	暖房	最大(1200W強風)	42/42dB
		最小(600W弱風)	26/26dB
	涼風	最大	48/48dB
		最小	41/41dB
本体	ヒーター方式	カーボンヒーター(600W×2本)	
	適用面積目安	~1.5坪	
	外形寸法	高さ204mm×幅525mm×奥行178mm	
	コード長さ	約2.5m	
その他	質量	4.5kg	
その他		人感センサー、リモコン、切タイマー、3時間自動切タイマー、ecoオート運転	

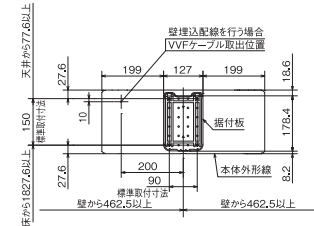
※商品の保証期間は1年となります。

※ヒーターは消耗品ですので交換が必要な場合があります。交換する場合はお買い上げの販売店またはお近くのコロナ営業所にご相談ください。

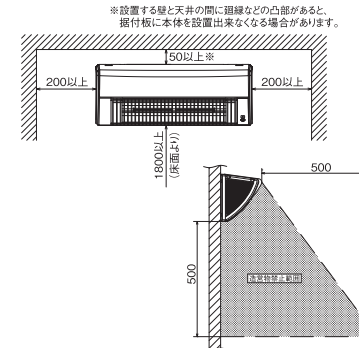
外形寸法図(単位:mm)



据付寸法図(単位:mm)



据付制約(単位:mm)



06

信頼の日本製

暖かさは実証済み!
信頼の日本製です。

暖かさにこだわって作った暖房のコロナの自信作。信頼の日本製だから安心感が違います。

図書館並みの低騒音!
低騒音 26dB※

※弱風時の値です。強風時は42dBとなります。



送風機能の単独運転で、扇風機がわりにも! 暑い脱衣所も快適に!

壁掛型遠赤外線暖房機 据付説明書

CHK-C126/DHK-C1216

製品を安全にお使いいただくために、据え付け工事をする前に必ずこの据付説明書をお読みください。据え付け工事は販売店・工事店様の電気工事が資格者がおこなってください。お客様自身で据え付けしないでください。別冊でお客様用の取扱説明書が同梱されていますので、据え付け完了後に必ずお渡しください。本製品の施工にあたって、地域により防災上の制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、ご不明な点は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項はお使いになる方や、他人への危害と財産の損害を未然に防止安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。次に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。
注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示します。

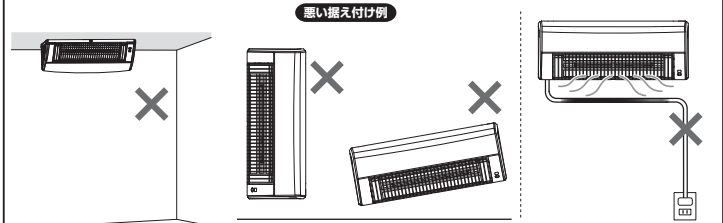
○お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し、説明します。

	この記号は「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
	この記号は行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な強制内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

警告	
	据え付け工事はこの据付説明書に従って確実にこなす 据え付けに不備があると感電や火災の原因になります。
	改造はおこなわない。修理技術者以外の方は、修理や分解をしない 異常動作をしてけがをするおそれがあります。
	浴室などの湿気の多い場所や、温泉、汲み取り式のトイレなどでは使用しない 感電や火災、故障の原因になります。
	電気工事をおこなう場合は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に基づき、電気工事士の資格を持った方がこなす 接続が不適切な場合、感電、漏電、発熱、火災などの原因になります。
	交流100V以外では使用しない 定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。
	定格15A以上のコンセントを単独で使用する 他の器具と併用するとコンセントが異常に発熱して火災の原因になります。
	アース（接地）を確実にこなす（電気工事をおこなう場合） アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときの感電の原因になります。
	電源コードの途中で接続、延長コードの使用、他の電気器具とのタコ足配線はしない 感電や火災の原因になります。
	電源コードを傷ついたり、無理に折ったり、曲げたり、束ねたりしない 電源コードが破損して、感電や発熱、火災の原因になります。
	コンセントの差し込みがゆるいときや電源プラグが傷んでいるときは使用しない 感電や火災の原因になります。
	本体やリモコンに直接お湯や水、カビ取り剤などがかかる場所に据え付けしない ショートや感電の原因になります。
	スプレー缶や有機溶剤などを本体の近くに置かない 熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。
	周りに可燃物や障害物を置かない 火災や、やけどの原因になります。

注意	
	据え付けは器具の重量に耐えるところに確実にこなす 強度不足や据え付けが不安定な場合は器具落下によるけがの原因になります。
	ファンやヒーターにさわったり、吹出口などから指や物を差し込んだりしない 感電や、けが、やけどのおそれがあります。
	強い振動や衝撃を与えない ヒーターが破損し、感電やけがの原因になります。
	据え付け作業をするときは手袋を着用し、足元に十分注意する 転倒やけがをするおそれがあります。

- 据え付け前のお願い（器具の据え付けの際は、以下のことにご注意ください）**
- この製品は脱衣室や小部屋、水洗トイレなどの壁掛専用暖房機です。浴室やプールなどのぬれる場所、温泉や汲み取り式トイレのような腐食しやすいガスが発生する場所、室外といった特殊な環境での使用はおやめください。
 - 本製品は一般家庭用の製品です。工場や倉庫など一般家庭用以外（業務用）の用途で使用すると、故障の原因になりますので、一般家庭以外では使用しないでください。
 - 器具を天井など逆さに据え付けたり、縦や斜めに据え付けることはおやめください。
 - 器具の真下など、熱が直接あたる場所には電源コードを配線しないでください。



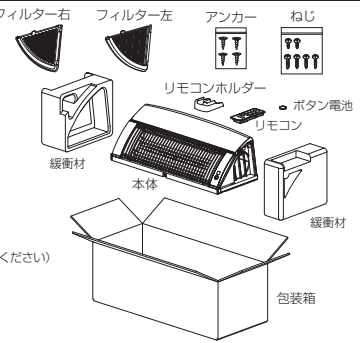
- 悪い据え付け例**
- 油煙やタバコの煙が多いところには据え付けしないでください。
 - 高温になる場所（周辺温度40℃以上）には据え付けしないでください。
 - 直射日光や蛍光灯の近くなど強い光があたる場所には据え付けしないでください。
 - 器具は床から1.8m以上の高さに据え付けてください。
 - 建築中やリフォームなどをおこなっている場所では、内装工事（クロス張り）が完了してから器具を据え付けてください。
 - 本体およびリモコンホルダーを壁面に据え付けるにあたって、ねじ穴を開ける必要があります。お客様にそのことをご了承いただいた上で据え付けをおこなってください。
 - フィルターは本体を壁に固定してから取り付けてください。
 - 据え付け時は本体やリモコンホルダーが傾かないように水平に据え付けてください。
 - 施工の際に、石膏ボードの粉などが器具内部に入らないよう注意してください。
 - 器具の質量は4.5kgです。据え付ける壁面に十分な強度があるかご確認ください。もし強度が足りない場合は、補強工事をおこなってください。
 - 推奨する部屋の適用面積の目安は1.5坪までです。部屋が広すぎる場合は、効果を十分に得られない場合があります。
 - 気密性や断熱性が低い部屋では性能が十分に発揮できない場合があります。特に大きい窓がある場合や、モルタル・タイル壁の部屋は温度が上昇しにくくなります。このような状況で、やむをえず器具を据え付ける場合はお客様にその旨を十分説明してください。

梱包とセットの確認

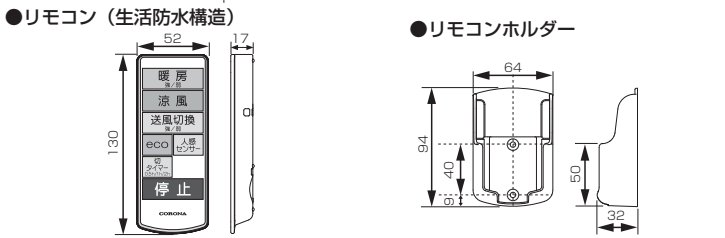
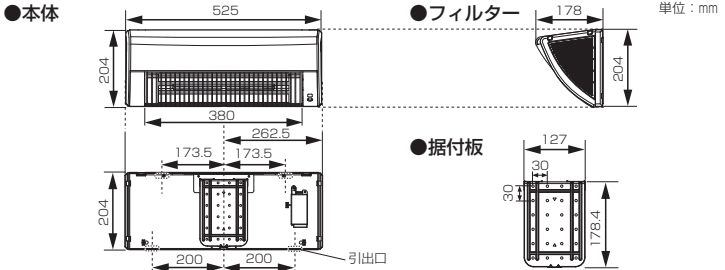
包装箱から緩衝材と器具本体を取り出し、中身に不足がないかご確認ください。

●セットの確認

1. 本体 … 1台
2. フィルター右・左 … 各1枚
3. 据付板 … 1枚（本体に組み付けてあります）
4. リモコン … 1個
5. リモコンホルダー … 1個
6. アンカー … 4本
7. 据付板固定用ねじ … 4本
8. リモコンホルダー 固定用ねじ … 2本
9. ボタン電池（CR-2032） … 1個
10. 取扱説明書（保証書付） … 1冊（必ずお客様にお渡しください）
11. 据付説明書 … 1部（必ずお客様にお渡しください）

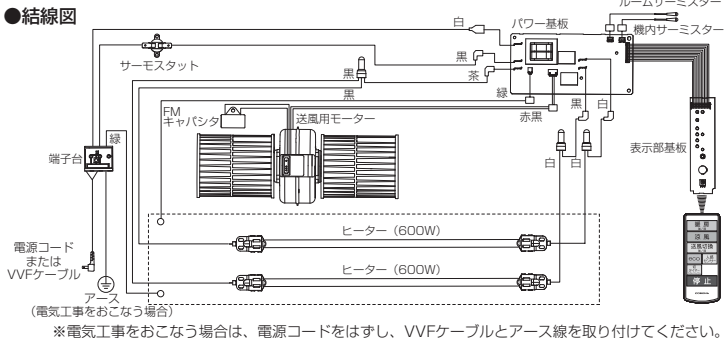


各部の名前と寸法



- 付属品**
- 石膏ボード用アンカー（4本）
 - ボタン電池（CR-2032）（1個）
 - タップピンねじ 4×12 リモコンホルダー固定用（2本）
 - タップピンねじ 4×25 据付板固定用（4本）
 - 取扱説明書（1冊）（施工後必ずお客様にお渡しください）
 - 据付説明書（1部）（施工後必ずお客様にお渡しください）

- 必要に応じて現地で用意していただくもの**
- アース線（銅線直径φ1.6以上の単線）/アース工事用
 - アース棒/コンセントからアースが取れない場合
 - VVVFケーブル（2芯φ1.6mm～2.0mm）/電気工事をおこなう場合
 - 補強材/壁補強用
 - コンセント



据付手順

- 1 据え付け位置の決定（床から1.8m以上の場所を選定）**
 - 壁の状態を確認。
 - 据え付けスペースの確認。
 - アース位置の確認。（電気工事をおこなう場合）
 - お客様に壁面に穴を開けて良いかの確認。
- 2 据付板の据え付け**
 - 据付板をがたつきのないように垂直に据え付ける。
- 3 電源の接続**

付属の電源コードを使用する場合	電気工事をおこなう場合						
●電源コードを引き出す位置を決める。	<table border="1"> <tr> <th>露出配線</th> <th>壁埋込み配線</th> </tr> <tr> <td>●コンセントの位置の確認。</td> <td>●配線する穴を開ける。</td> </tr> <tr> <td>●アース線を接続する。（D種接地工事）</td> <td>●アース線を接続する。（D種接地工事）</td> </tr> </table>	露出配線	壁埋込み配線	●コンセントの位置の確認。	●配線する穴を開ける。	●アース線を接続する。（D種接地工事）	●アース線を接続する。（D種接地工事）
露出配線	壁埋込み配線						
●コンセントの位置の確認。	●配線する穴を開ける。						
●アース線を接続する。（D種接地工事）	●アース線を接続する。（D種接地工事）						
- 4 本体の据え付け**
 - 本体を据付板に据え付ける。
- 5 リモコンホルダーの取り付け**
 - 取り付け位置をお客様と相談して決める。
 - リモコンホルダーを取り付ける。
- 6 試運転**
 - 取扱説明書を参照して動作確認をおこなう。

※施工中は電源プラグをコンセントから抜く。

据付方法

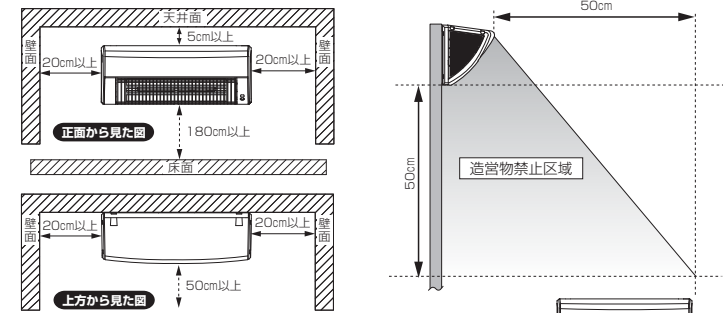
1 据え付け位置の決定

警告	浴室などの湿気が多い場所や、温泉、汲み取り式トイレなどでは使用しない 感電や火災、故障の原因になります。
	スプレー缶や有機溶剤などを本体の近くに置かない 熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。
	周りに可燃物や障害物を置かない 火災や、やけどの原因になります。
注意	据え付けは器具の重量に耐えるところに確実におこなう 強度不足や据え付けが不安定な場合は器具落下によるけがの原因になります。
お願い	フィルターは本体を壁に固定した後に取り付けてください 本体を持ち運ぶときに、本体が落下することを防止します。

- 据え付けようとしている部屋が、製品を使用できる環境であるかの確認
 - この製品は脱衣室や小部屋、水洗トイレなどの壁掛型専用暖房機です。
- 据え付け位置の壁強度の確認
 - 壁の状態を確認してください。強度が足りない場合は補強工が必要になります。
- コンセント位置の確認
 - 本体の周囲約200cm以内にコンセントがあるか確認してください。コンセントがない場合は、コンセントの増設工事を電気工事に依頼してください。
(コードの引き出し位置によって必要な長さは異なります。)

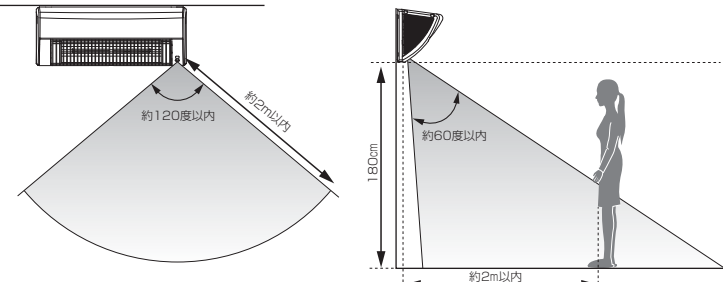
- 据え付け寸法の確認
本体の据え付け寸法
 - 本体の周囲に適切なスペースがあるかを確認してください。
 - 本体の周囲に熱を逃がさないような造造物(照明など)がないかを確認してください。
※窓枠は3cm以上突出している場合、造造物扱いとなります。

- 規定のスペース**
- 本体天井から天井面まで5cm以上*
 本体右側面から壁面まで20cm以上*
 本体左側面から壁面まで20cm以上*
 本体下面から床面まで180cm以上*
 本体正面から造造物まで50cm以上*
- *設置する壁と天井の間に廻線などの凸部があると、据付板に本体を設置できなくなる場合があります。



- リモコンの取り付け位置
 - リモコンは本体の真下に取り付ける場合、本体を据え付けた位置から50cm以上下の壁面に取り付ける。
 - 遮蔽物があると、リモコンが反応しないことがあります。
センサーを遮るような遮蔽物がないか確認してください。
 - リモコンホルダー取り付け時に壁の強度を確認してください。

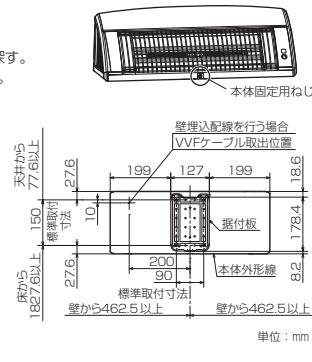
- 人感センサーの検知範囲の目安
 - 下図を参考にして、据え付け位置を決定してください。



2 据付板の据え付け

- 据付板の固定位置を決める
 - 据付板の本体固定用ねじをゆるめて器具本体からはずす。
 - 壁打センサーなどを使って、壁の中の構造物(柱などを)探す。
 - 据付板を壁に当てて、水準器などで水平かどうかを確認する。
 - 据付板の穴から壁に印をつける。

- 据付板を据え付ける
 - 付属の据付板固定用ねじ4本を使って、据付板を確実に取り付けてください。
※据付板固定用ねじは可能な限り四隅に付けてください。
 - 石膏ボードなど、ねじが固定しにくい場合は付属のアンカーを使用してください。
 - アンカーを使用する場合は、確実に最後まで押し込んで緩みのないようにしてください。
 - 壁材の厚さが10mm未満の場合には、市販の10mm以上の補強材を使用してください。
 - 天井と壁の間に廻線がある場合は規定以上に天井までの寸法が必要となります。



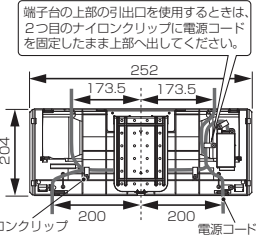
3 電源の接続

警告	電気工事をおこなう場合は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に基づき、電気工事士の資格を持った方がおこなう 接続が不適切な場合は、感電、漏電、発熱、火災などの原因になります。
	電源コードを傷つけたり、無理に折ったり、曲げたり、束ねたりしない 電源コードが破損して、感電や発熱、火災の原因になります。
	コンセントの差し込みがゆるいときや電源プラグが傷んでいるときは使用しない 感電や火災のおそれがあります。

●電源の接続は、現場の状況またはお客様の要望に応じて、露出配線にするか、壁埋込み配線にするかを決定してください。

3 電源の接続(つづき)

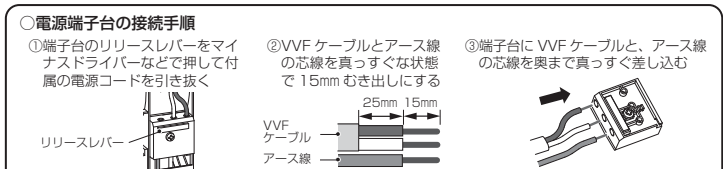
- 付属の電源コードを使用する場合
- 電源コード引出口4箇所の中から電源コードを引き出す位置を決める。
 - 決定した引出口を、ニッパーやカッターを使ってきれいにくりぬく。
 - 電源コードを器具本体背面のナイロンクリップを使って、引出口まで適切に配線する。(ナイロンクリップは5個付属)
 - コンセントが一番近い引出口を選んでください。
 - 電源コードは束ねないでください。
 - 器具の真下など、熱が直接あたる場所に電源コードを配線しないでください。



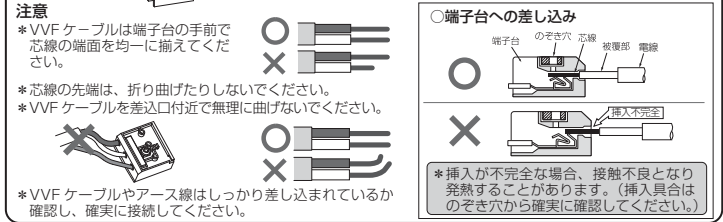
- ※次のようなコンセントはお取替えください。
- 長年使っているコンセント
 - 抜き差しをひんぱんにおこなっているコンセントの刃受けが広がっている場合、熱を持って火災や故障につながるおそれがあります。

- 電気工事をおこなう場合
- VVFケーブル(2芯 1.6mm~2.0mm)とアース線(銅線直径約1.6以上の単線)を使用してください。
 - 壁埋込み配線の場合は「2.据付板の据え付け」の図に従って、VVFケーブルを壁から取り出してください。
(据え付け作業がおこないやすいように、長めに引き出してください。)

- ねじ3箇所をはずし、端子台カバーを開ける。
- 付属の電源コードをはずし、VVFケーブルとアース線を電源端子台に接続する。
(電源端子台への接続手順は下図参照)
- 端子台カバーを閉める。
- 露出配線の場合は、「付属の電源コードを使用する場合」を参照してお好みの引出口まで配線する。
(ナイロンクリップには、VVFケーブルのみ固定してください。アース線は、VVFケーブルに沿わせて配線してください。)
- 「4.本体の据え付け」に従って器具を据え付ける。
(壁埋込み配線の場合は、あまったコードを壁の中に押し込み据え付けしてください。)



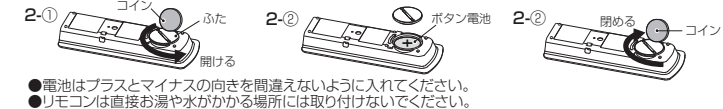
- 電源電圧は必ず確認してください。
- 電源端子台の接続手順
- 端子台のリリースレバーをマイナスドライバーなどで押して付属の電源コードを引き抜く
 - VVFケーブルとアース線の芯線を真っすぐな状態で15mmむき出しにする
 - 端子台にVVFケーブルと、アース線の芯線を奥まで真っすぐ差し込む



4 本体の据え付け

- 本体の固定
 - 壁に固定した据付板上部につめに本体の引っ掛け穴を差し込む。
 - 本体下部を押し込んで壁に密着させる。
 - 据付板下部のねじ固定部に本体固定用ねじを締める。
- フィルターの取り付け
 - フィルター内側のつめを本体のレールに合わせてまっすぐスライドさせる。
※フィルターは両側にあります。

- リモコンホルダーの取り付け (取り付け位置は「据え付け位置の決定」を参照)
 - リモコンホルダーを取り付け位置に合わせる。
 - 付属のリモコンホルダー固定用ねじ2本を使用してリモコンホルダーを固定する。
- リモコンの設置
 - リモコン裏面のふたをコインなどを使って開ける。
 - 付属のボタン電池を入れてしっかりふたを閉める。
 - リモコンホルダーにリモコンを差し込む。



5 リモコンホルダーの取り付け

1. 電源の接続
 - 電源コードを壁に固定し、電源プラグをコンセントに差し込む。
 - 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする。
2. 電源を入れる
 - 付属の電源コードを使って電源を接続した場合は、電源プラグをコンセントに差し込む。
 - 電気工事をして電源を接続した場合は、ブレーカーをONにする。
3. 動作の確認
 - 取扱説明書を参照して、動作の確認をおこなう。
 - リモコンホルダーにリモコンを入れた状態でキーが全部反応し、正しく運転するか確認する。
 - 異音や振動がないか確認する。
 - 周りに可燃物がないか確認する。

●試運転はお客様立会い、販売店か工事店の方がおこなってください。

6 試運転の後

- 据え付け後は据付説明書とともに取扱説明書(保証書)をお客様に渡し、動作の説明をおこなってください。
- 引渡まで時間がかかる場合は、電源プラグとリモコンの電池を抜いて、取扱説明書とともに保管しておいてください。